

高等学校 令和7年度 (3学年用) 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：(1組：金子) (2組 伊藤) (3組：星野) (4組：金子) (5組：星野) (6組：金子) (7組：星野)

使用教科書：(『論理国語』(大修館書店))

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	コミュニケーションの手段 「ネットワーク上のコミュニケーション」	・対比的な論じ方や具体例の意図をとらえ、論旨をつかむ。 ・対面とネットワーク上でのコミュニケーションの差異について考える。 ・一人1台端末の活用	○	○	○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。〔B(1)ウ〕 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な観点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、対比や具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	8
	定期考査					○	○		1	
	メディアの変容 「ポスト真実時代のジャーナリズムの役割」	・筆者の現状認識と問題意識を正確にとらえる。 ・メディアの現状と課題、マスメディアの役割について考える。 ・一人1台端末の活用	○	○	○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。〔B(1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、実際の社会状況を意識しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	8
	定期考査					○	○		1	
	相手を意識して書く	・相手に応じた適切な表現を選んで書く。 ・語彙の難易度やニュアンスに注意して書く。		○		【知識・技能】 ・教材文の主旨を変えないように、相手に即した語彙・表現に書き換えている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、相手の予備知識に応じて情報を整理し、文章構成を工夫して、主旨を的確に伝えている。〔A(1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・成果物を読み合い、学びの成果を言葉で表現しようとしている。	○	○	○	5

2 学 期	言語の探究 「人を指す言葉」	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠に注目しながら、筆者の主張を読み取る。 ・日本語の特徴について考え、言葉に対する理解を深める。 	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。〔B(1)ウ〕 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。〔B(1)カ〕 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に沿って、本文中の根拠に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。 	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	存在への問い 「日常に走る亀裂」	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な説明と抽象論との関係をとらえる。 ・筆者の身体観を的確に読み取り、身体や自己意識に対する認識を深める。 	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用されている語句の定義を確認しつつ理解を深めている。〔(1)イ〕 ・文や文章の接続の仕方や構成をとらえ、論の形式について理解を深めている。〔(1)ウ、エ〕 ・情報どうしの関係づけのしかたについて理解している。〔(2)イ〕 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、内容・構成を的確にとらえ、筆者の意図と考えられることとの関係をとらえている。〔B(1)イ、エ〕 ・「読むこと」において、筆者の思考をふまえて、既有的知識や経験を基に自分の考えを深められている。〔B(1)カ〕 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来の物事のとりえ方や考え方を改めて見つめ直すことに興味・関心をもとうとしている。 	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	調べたことをレポートにまとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・目的を明確にして、適切な引用を行う。 ・多様な方法で情報を収集し、効果的な構成を考えて書く。 	○			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。〔(1)エ〕 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。〔(2)イ〕 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などのさまざまな観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。〔A(1)ア〕 ・「書くこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直したりしている。〔A(1)カ〕 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の見直しをもって、全体の構成を意識しつつ、積極的に調べたことをレポートにまとめようとしている。 	○	○	○	5

